

100年古道

草嶺古道の過去、現在、未来

草嶺古道は、新北市貢寮区遠望坑から宜蘭県頭城鎮大里までをつなぐ全長8.5kmの山道歩道です。かつては先人たちが台北-宜蘭間を行き来するための主要な通路でした。また現在も清の時代に開かれた淡蘭古道の一部がわずかに遺跡として残されています。

古道の両側には、常緑広葉樹や亜熱帯雨林の特色を持つヒカゲヘゴの森が広がり、途中「跌死馬橋」を渡ると、「仙跡岩」のほか、国家三級古跡に仲間入りした「雄鎮蠻煙摩碯」や「虎字碑」の石碑遺跡を見ることができます。埡口まで上り詰めると、白いススキが秋の季節風に吹かれてゆらゆらと揺れ、まるで幾重にも重なる波の花が山頂を舞っているかのような素晴らしい眺めが満喫できます。

草嶺古道では豊富な古跡と人文生態が育まれています。一步一步登り進めていくハイキングの旅を通じて、先人たちの過酷な開拓人生に思いを馳せてみましょう。古道への思いがしみじみと伝わってきます。古道は200年以上もの長い年月を刻みながら、この土地の大切さを私たちに教えています。



暨宜蘭海岸國家風景區管理處
Northeast and Yilan Coast National Scenic Area Administration

交通部觀光局東北角及宜蘭海岸國家風景區管理處

電話：02-2499-1210 FAX：02-2499-1170
住所：新北市228貢寮区福隆里興隆街36号
Website：www.necoast-nsa.gov.tw
Email：su01@necoast-nsa.gov.tw
ホットライン：0800-091-115
消費者保護ホットライン：1950
観光情報ホットライン：0800-011-765

古代を偲ぶ 草嶺古道

空の果てに最も近い東北角の一角を
ハイキングして楽しむ原始的な旅のスタイル。
白いススキ、緑の林をかき分けて
草嶺古道に足を踏み入れば、100年前の山と
海の世界へタイムスリップ。
人と自然が密接につながる新しいグリーンライフへ出かけよう……

注意事項

1. 遠望坑親水公園、ピクニックエリア、護管所にはそれぞれトイレが設置されています。
2. 古道途中には、売店がありません。護管所前の飲料自動販売機のみとなります。貢寮または福隆にてお弁当やスナック類を買ってから入山してください。
3. 埡口及び虎字碑の周辺は、秋冬の時期になると強風が吹き付けますので、防寒対策を心がけ、雨具をご持参ください。
4. 台鉄大里駅に停まる列車は区間車(各駅停車)のみで、本数はあまり多くありません。列車をご利用の際は、予め時刻表をご確認の上、余裕を持ってご利用ください。
5. 遠望坑親水公園には、普通乗用車の駐車場が二か所設置されています。大型自動車を駐車する場合は、大里ビジターセンター及び大里天公廟に設置された駐車場をご利用ください。
6. 古道には街路灯がないため、午後3時以降の入山はご遠慮ください。
7. 埡口景観東屋からは桃源谷遊歩道へ続く草嶺ルートに繋がっています。所要時間は4時間ほどですが、途中に売店はありませんので、食べ物や飲み物はご自身で準備し、安全のために早めに下山するよう心がけてください。



交通アクセス

- 台鉄：台鉄北回線の宜蘭、花蓮、台東方面行きの列車に乗り、貢寮駅、福隆駅、大里駅のいずれかで下車。
- 客運バス：国光客運バス：台北→羅東線にて、福隆駅あるいは大里駅で下車。基隆客運バス：和美→貢寮(草嶺古道)→福隆または遠望坑口にて下車。
- マイカー：中山高速公路(国道1号線)の暖暖、瑞芳ICを降りて、62号線(万瑞快速道路)から台2線へと進む。車は遠望坑口か大里ビジターセンターの駐車場へ駐車。

年に一度のビックイベント

草嶺古道ススキフェスティバル ススキの広がる美しい古道を記憶に残す

毎年11月、東北季節風が吹き始めると、風にたなびく白いススキが山全体を覆い、古道に彩りを添えてくれます。東北角及び宜蘭海岸国家風景区管理處では毎年趣向を凝らしたイベントを企画し、数万人もの観光客を引き寄せています。かつて先人たちが歩いた石板古道に足を踏み入れ、100年もの間、変わることのない美しい秋のススキと共に、はるか昔の古道に思いを寄せながら人文風情を楽しんでみませんか。知性と感性を併せ持つ秋の饗宴レジャーをぜひご満喫ください。



所要時間

草嶺古道は全長8.5km、徒歩で片道3~4時間ほどかかります。遠望坑から出発して大里方面へ進むルート(北→南)または大里から出発して遠望坑方面へ進むルート(南→北)がオススメです。他にも福隆の虎子山から遠望坑へ行き、大里へ向かうルートもありますので、ご自身の旅行スケジュールに合わせて登山ルートを決めてください。

福隆駅 $\xrightarrow{2\text{km}/1\text{hr}}$ 遠望坑口 $\xrightarrow{1\text{km}/0.5\text{hr}}$ 跌死馬橋 $\xrightarrow{0.84\text{km}/0.5\text{hr}}$ 大榕樹エリア
 $\xrightarrow{0.8\text{km}/40\text{mins}}$ 雄鎮蠻煙摩碯 $\xrightarrow{0.7\text{km}/20\text{mins}}$ ピクニックエリア $\xrightarrow{0.5\text{km}/20\text{mins}}$ 虎字碑
 $\xrightarrow{0.13\text{km}/5\text{mins}}$ 埡口景觀東屋 $\xrightarrow{0.56\text{km}/15\text{mins}}$ 景觀台 $\xrightarrow{0.14\text{km}/5\text{mins}}$ 護管所
 $\xrightarrow{1.8\text{km}/40\text{mins}}$ 大里天公廟 $\xrightarrow{0.14\text{km}/5\text{mins}}$ 大里

案内マップ



10 大里天公廟

別名草嶺慶雲宮と呼ばれます。山を背に海に面しているため風光明媚な景観が魅力的です。廟内には玉皇大帝が祀られており、毎年旧暦の1月9日には玉皇大帝の誕生の日として祭祀が行われ、遠くから大勢の参拝者が訪れます。



11 大里ビジターセンター

人文史跡の展示やマルチメディア室が完備され、ガイド解説のサービスを提供しています。入口の広場には、「虎字碑」のレプリカ拓本エリアがあり、拓本体験を通してツーリストに拓本の面白さを伝えています。



8 客棧遺址(宿場跡)

かつて古道を利用する旅人が休憩するために立ち寄った所。現在も石積みの跡が残っており、ススキフェスティバルのシーズンには訪れる人々に生姜茶をサービスしています。

9 護管所

1970年(民国59年)、林地を管理するために林務局によって設置されました。1989年(民国78年)、年々増加する観光客に対応すべく、東北角及び宜蘭海岸風景区管理处が羅東林区管理处を通じて原地の改築や公衆トイレの増設を申請し、林務局によって許可されました。



5 桃源谷

かつてはカウボーイ山と呼ばれ、3kmに及ぶ緩やかな傾斜の草原が続いています。草原からの眺めは壮観で、東には太平洋が、北には龍洞岬が見渡せます。山と海が交差する美景が満喫できるため、人気のハイキングコースとなっています。



4 虎字碑

草嶺古道三級古跡に指定された石碑です。当年台湾鎮総兵であった劉明燈は北から埡口へ向かう際に暴風に遭いました。易経の「風は虎に従う」から取って「虎」の字を書き上げ、風が静まって安全な旅ができるよう願いました。



3 「雄鎮蠻煙」摩碯

草嶺古道三級古跡に指定された石碑です。伝説によると、清同治6年、台湾鎮総兵であった劉明燈が北から巡回にやって来た際、草嶺の山腹で濃霧に道を阻まれたため、「雄鎮蠻煙」の4文字を記して霧を払ったと言われています。



2 跌死馬橋

言い伝えによると、当年古道を利用する人たちは基隆から馬に乗ってここにやって来たとのこと。しかし、狭い木造の橋を歩き交う際に、疲労がたたり衰弱しきっていた馬が足を取られて橋の下に落下したことからこの名が付いたと言われています。



1 遠望坑親水公園

四方を山々に囲まれ、段々畑や澄んだ川、緑が生い茂るこの公園は、草嶺古道で外せないスポットです。公園内には、東屋や遊歩道、アーチ橋、生態池などが設置され、のんびりと田園風情が満喫できるので、家族連れに適しています。



- 東北角及び宜蘭風管処
- 福隆ビジターセンター

凡例

- 草嶺古道
- 台2線
- 鉄道
- 旧草嶺自転車トンネル